

報道関係者各位



洛和会
音羽病院

子どもたちに命を救う方法をZoomで講習 大津市の小学校で PUSHプロジェクトを実施

リアルな救命学習で子どもたちの勇気を「PUSH」!

前触れもなく心臓が止まる突然死。日本では毎年約7万人が命を落としています。洛和会音羽病院(京都市山科区)では「PUSH プロジェクト※」に賛同し、心肺蘇生の中で最も重要な胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAED(自動体外式除細動器)の使い方を地域に広く周知し、救命率を上げるため、地域の教育機関へ出張研修を行っています。今回は大津市立青山小学校の5年生に当院の看護師が「救える命を救う方法」を遠隔で講習します。

※PUSH プロジェクト…NPO 法人大阪ライフサポート協会から発足した、胸骨圧迫・AEDの普及を通じて、突然倒れた人を救命できる地域を目指す取り組み。全国的に広まっている。

内容

① 胸骨圧迫

押すと音がなる模型器で、正しい圧迫を学ぶ

② AED 使用方法

練習器で装着位置まで確認

③ 救命活動シミュレーション

人が倒れてから胸骨圧迫・AEDを開始するまでの一連の流れを実演



【実施概要】

実施日：2021年12月14日(火) 取材可能時間 / 午前9時30分～11時15分

場 所：大津市立青山小学校

※今回は新型コロナウイルス感染症対策としてZoomで病院と各教室をつなぎます。

人 数：看護師2人、5年生5クラス148名

【洛和会ヘルスケアシステム】

代表者：理事長 矢野一郎

所在地：京都市山科区音羽八ノ坪 51-4

設立：1950(昭和25)年

URL：<http://www.rakuwa.or.jp/>

主な事業：医療、介護、健康、保育、教育、研究

【本件に関するお問い合わせ先】

洛和会ヘルスケアシステム

企画広報 アローフィールド

担 当：岩井

TEL：075-594-8488

FAX：075-501-4583

e-mail：kouhou@rakuwa.or.jp